



第9回行動神経科学セミナー
第5回早大環境医科学研究所セミナー
のお知らせ

これからの脳科学を展望する：

- 1) 環境・生体情報ネットワークと脳機能、
- 2) 哲学・心理学と脳科学

講師：和田 圭司 先生

国立精神・神経医療研究センター

疾病研究第四部長/トランスレーショナル・メディカルセンター長

日時： 2017年11月9日(木) 17:00~18:00

場所： 早稲田大学所沢キャンパス 100号館 407号室

和田先生はパーキンソン病やアルツハイマー病など神経変性疾患の研究をされています。ユビキチンシステムなど細胞内蛋白質動態制御系による病態形成、内在性神経幹細胞の生物学的活性化による再生医学研究、原因遺伝子産物の動態制御やグリア・ニューロン相互作用を標的にした予防法の開発研究など、いずれも最先端の成果を挙げられています。

また、医学だけでなく理工学、物理学、数理解析学などの学際研究により、「こころの分子基盤」に関する研究を推進するため、日本神経化学会理事長、日本神経科学学会理事、日本病態生理学会理事としてもご活躍されています。

今年度の人間科学部専門科目「高齢者・超高齢社会の医学」において一部の講義をご担当いただいています。ご来校にあたり、大学院生向けのセミナーとして「これからの脳科学」についてご講演いただきます。学部生を含め、どなたでも参加いただけます。興味のある方はぜひご参加ください。

問い合わせ先： 行動神経科学研究室(535号室)掛山 kake@waseda.jp